

歯医者さんの裏側のお話

えっ! そうだったの?

歯科治療で使用する器具の消毒・滅菌が一部十分でない為、院内感染する病気が多いことが指摘されています。血液や唾液中にさまざまな細菌やウイルスが潜んでいることは、みなさんご存知だと思います。歯科医院はその血液や唾液を伴う処置が多い事から、院内感染のリスクが高いと言われており、器具の消毒・滅菌が大事とされています。しかし、歯科医院で扱う器具機材は多種多様で、患者さん一人一人使用する物が違い、すべての器具を清潔に保つことはとても大変な事です。また、特殊な器具（ハンドピースなどの精密機器）に対する滅菌、使い捨て用品の保管と管理、鋭利な器具に対する十分な洗浄作業など、多くの手間と、それに伴う莫大な費用が必要で、そのため、消毒・滅菌を十分に行なっている歯科医院は少ないのです。それでも患者さんの為に、設備投資・院内整備をし、こだわりを持って消毒・滅菌をする歯科医院が年々増えています。

みなさんを「大切な家族」と思い消毒・滅菌・使い捨てをしています

あなたがもし歯医者さんだったら、細菌やウイルスに感染している可能性がある器具で、大切な家族の歯を治療できますか？ 当院は、来院していただくみなさんを「大切な家族」だと思い、安心・安全な治療を受けていただきたいという思いから、消毒・滅菌をはじめとする院内感染予防に力を入れています。患者さんのお口に一度入った器具は、院内感染の経路を断つために、患者さんごとに消毒・滅菌、または可能な限りの Disposable (使い捨て) 製品を利用しています。

当院ではこのようなことに気をつけています

患者さんに見て欲しい 知って欲しい6つのポイント

POINT.1



衛生面を考えテーブルに置く物を最小限に!

削るパーやお口に入る器具は患者さんごとに消毒・滅菌をしているため、使用しないものはテーブルの上なるべく置かないようにしています。(医院によってテーブルの形状が異なります。)

POINT.2



患者さんごとに基本セットを準備!

滅菌が終わった器具は滅菌バックで保管されます。(医院によっては使い捨てのトレーや「滅菌ケース」と言われる箱状のものに入れていたり、殺菌灯で保管する医院もあります。)



POINT.3

患者さんが座ってから削るドリルを装着!

特に重要! 歯を削るドリルは精密機器のため滅菌すると寿命が短くなりますが、感染防止のため患者さんごとに滅菌しています。



POINT.4

グローブは患者さんごとに使い捨て!

診療は必ずグローブを付けて行ないます。患者さんのお口の中を触りますので、もちろんグローブも患者さんごとに使い捨てをしています。

POINT.5



紙コップやエプロンなどは使い捨て!

使い捨てができる物はできる限り使い捨てを使用する事を心がけています。(エプロンに関しては使い捨てではなく、しっかり滅菌処理を行なって使用している医院もあります。)

POINT.6



患者さん退出後イスやテーブルを丁寧に拭き上げ!

血液や唾液は広範囲に飛び散っているため、目に見えない場合でも次の患者さんの為に清潔な状態を保つことが必要だと考えます。

※歯科医院によってやり方が異なる場合もございます。